

● 修理・修景基準

景観形成地区内で修理・修景基準に基づいて、歴史的建築物等の修理や修景を行う場合は、その外観について、技術的援助や助成が受けられます。

		修理基準 (歴史的建築物を修理する場合)	修景基準 (歴史的景観に積極的に役立てる場合)	
建築物	外壁の位置・規模	歴史的建築物の外観を保存するための修理を行う。	外壁の位置および規模は、可能な限り歴史的建築物に従う。	
	形態	歴史的建築物の構造形式別の建物特性を参照とする。ただし、いずれにも該当しない建物特性が見られる場合、各々独自の形式・意匠にしたがって修理を行うものとする。	周囲の歴史的建築物に合わせ、違和感のないものとする。	
	意匠	色彩	歴史的建築物の形態別の修景基準に従う。	歴史的建築物の形態別の修景基準に従う。特に通常望見できる範囲は、周辺の街なみとの調和を図る。
		素材		
		屋根		
		軒・庇		
匠	外壁・窓	本来の建物特性が、すでに失われている場合には、修景基準を参照とする。		
	建具			

※修理：経年変化に伴って破損の進んだ箇所を補修し、建物本来の健全な状態を回復させること。
 ※修景：外観を周囲の歴史的景観に合わせて整えること。

歴史的建築物のたたずまいを 守り活かしてしくために

青梅宿の街なみは、江戸後期から昭和初期までさまざまな時代の歴史的建築物が存在し、江戸期以来の経済の隆盛を反映する質の高い建築物も多くみられます。これらは、青梅のまちの歴史を伝える建物や産業・文化と密接なかかわりをもってさまざまな外観をみせており、その修理・修景を行う際には、各建物の外観を生み出している構造形式を踏まえる必要があります。そのため、修理・修景基準を「町屋・近代和風建築」「店蔵」「土蔵」「石蔵」「看板建築」の5つの構造形式別に定めます。

● 店蔵の修景基準

屋根
瓦葺または杉皮葺の雰囲気を残した金属板葺とする。

開口部（窓）
原則として漆喰塗の塗籠戸を用い、引き違いまたは観音扉とする。

開口部（出入口）
原則として引き違いの木製格子戸またはガラス戸を用い、建物正面に出入口を設ける。色彩に配慮したサッシュの使用も可とする。

外壁
原則として漆喰塗とする。その他の仕上げは歴史的建築物の意匠・色彩・材料を参考にし、建物全体の調和を図る。

漆喰塗の塗籠戸（観音扉）

木製ガラス戸

木製格子戸

漆喰塗の壁

● 町屋・近代和風建築の修景基準

黒系ツヤ消し瓦

黒系または茶系の平葺

黒系または茶系の瓦葺葺（上：鉄板、下：銅板）

外壁
原則として下見板張とし、自然の風合いを活かした色彩とする。

屋根
瓦葺または杉皮葺の雰囲気を残した金属板葺とする。

開口部（出入口）
原則として引き違いの木製格子戸またはガラス戸を用い、建物正面に出入口を設ける。色彩に配慮したサッシュの使用も可とする。

開口部（窓）
原則として引き違いの木製格子戸または木製ガラス戸を用いる。色彩に配慮したサッシュの使用も可とする。

木製格子戸

木製ガラス戸

茶系のアルミサッシュ

木製ガラス戸

茶系のアルミサッシュ

● 土蔵の修景基準

屋根
瓦葺または杉皮葺の雰囲気を残した金属板葺とする。

外壁
原則として漆喰塗とする。その他の仕上げは歴史的建築物の意匠・色彩・材料を参考にし、建物全体の調和を図る。

開口部（窓）
原則として漆喰塗の塗籠戸を用い、引き違いまたは観音扉とする。

開口部（出入口）
原則として漆喰塗の塗籠戸を用い、引戸または観音扉とする。

漆喰塗の塗籠戸（引き違い）

漆喰塗の塗籠戸（観音扉）

塗籠戸と中扉の造作

● 看板建築の修景基準

外壁
歴史的建築物の意匠・色彩・材料を参考にし、建物全体の調和を図る。

開口部（窓）
原則として木製ガラス戸を用い、引き違いまたは上げ下げ窓とする。色彩に配慮したサッシュの使用も可とする。

開口部（出入口）
原則として正面に設け、建物の雰囲気と調和したものとする。

テラソ仕上

人造石洗い出し仕上

モルタル仕上

銅板仕上